

5 その他

次回のスケジュールについて

9月24日(水)午後6時から開催

ヒアリング対象を7施策から6施策に変更

以下主な意見、質疑応答等（○は委員、●は担当課、◆は事務局の発言、*委員会としての意見・要望）

【23110 災害に強い都市基盤の整備】

- ハード整備の指標はわかるが、ソフトの部分は別施策にあるのか。
- 「23120 防災対策の強化」にある。
- 「指標3：都市防災基本計画の策定進捗率」は、市民にとってわかりやすい指標にはなっていないのではないかな。
- 課題の中から指標化できるものはないかな。
例えば、「延焼の危険度」や「避難路整備率」などを検討してはどうか。
- 都市防災基本計画策定後であれば、指標化は可能と考えている。
- 道路整備などの他課が所管している施策については、事業の再掲ができないため、今回は指標設定していない。
- 「指標1：広域避難場所整備率」は、整備に当たってシミュレーションをしているのであれば、想定避難民に対する充足率などの方がわかりやすいのではないかな。
- なぜ計画策定にこんなに時間がかかるのか。
- 津久井地域との合併があり、時間を要している。
- 課題が課題になっていないのではないかな。津久井地域だけが課題であるという理解でいいのかな。
- 行政が行うべき部分と市民や企業との役割分担がよくわからない。
- 解決策についても、行政活動の結果導き出されるものでなければならない。
- 指標1は、目標100に対し、達成100であれば、指標設定する意味が無いのではないかな。例えば、他市と比較できるような指標であってもいいのではないかな。
- 津久井地域以外は、全て達せられているので、100%の指標となっている。
- * 課題と解決策がおおまかでわかりにくい。具体的に記入すること。
- * 指標についても活動の成果や市民にわかりやすい視点で再考すること。

【24220 良質な住宅の供給】

- 「良質」の定義はあるのか。民間と比較してという意味か。
- 民間との比較ではなく、ニーズに対してと考えている。高齢者や単身者、子育て世代にとって良質であるということである。
- 申し込み要件に該当する市民の割合は把握しているのか。或いは申込者の何割が入居できるのか。
- 応募倍率は、平均すると8～10倍である。(高齢者向け住宅は総じて高い傾向がある)
- 量から質への変換期であるとのことであるが、高齢者の入居率や子育て世

代の入居率などを指標化出来ないか。

- 民間の借家との関係はどうか。
- 本市では、民間の空室は増加傾向であり、民間の借り上げなども検討している。
- 借家率などを指標化出来ないか。
- 現状借り上げしている実態はあるのか。
- 301戸ある。
- 借り上げと新規の建設するのでは、コスト面ではどうか。それを指標化することは出来ないか。
- 現在の借り上げの方法は、ランニングコストが非常に高くなっている。
- 民間需要が低くなれば、コストを下げる方法も取れるのではないのか。
- 新たに策定する住宅基本計画の中で検討していきたい。
- * 課題整理をした上で、指標検討を行うこと。
- * 住宅課の業務の成果が見えるような指標を検討すること。

【17110 個性豊かな地域づくり】

- 課題が課題になっていないのではないか。
- 市政懇談会については、議題が少なくなっているのが課題である。
- 限られた人が参加する会議であって、課題の掘り下げが足りないのではないか。
- 街づくり会議などと連携すると別の課題が見えてくるのではないか。
- 議題が少ないのは、事前に調整されているからではないのか。
- ニーズ把握の機会を自ら奪っているのではないか。
- 市民相談課として積極的にニーズ把握に努めているのか。課題把握のためにも積極的に地域と関わる必要があるのではないか。
- 課として地域に出向いて情報収集するのは難しいと考えている。
- 市民ニーズについては、コールセンターでの分析がされるべきではないか。
- コールセンターについては、別の施策であるが分析は必要と考えている。
- 「指標1：相談実施率」は、別の施策での指標ではないのか。個性豊かな地域づくりには馴染まないように思うが。
- 構成事務事業も含め新しい総合計画策定時は、整理したい。
- 例えば、「私の提案などの市政への反映率」などを検討してみてはどうか。
- 目標設定が難しいと考えている。
- 地域自治区運営費について、具体的な内訳を教えて欲しい。
- ◆事務局より後日提示する。
- * 市民相談課として待ちの姿勢から、積極的に提案する方向で事業展開すること。

【17120 コミュニティ活動の支援】

- 加入促進策について、大規模集合住宅等建設の際に取り決めなどはあるのか。
- 販売業者に周知のお願いをしている。
- 市がバックアップしてくれないと難しいという話を聞くが、市の努力がわかるような指標設定は出来ないか。
- 加入率の目標について、ベンチマークとしてはどうなのか。
- 近隣市の状況や中核市の状況は把握しているが、各市の都市の形態や現状、また、数値の取り方がまちまちで、ベンチマークとして比較するのは難しいのではないか。
- 転入時に窓口で周知はしているのか。
- パンフを置いて手渡している。また、3月の転入期にPR活動を実施した。
- 自治会の役割についても既加入者を含めてPRする必要があるのではないか。
- 検討している最中である。
- 自治会加入世帯数だけでなく、自治会の特徴ある活動がわかるような指標も検討してみてもどうか。
- 特徴ある自治会活動を抽出することは難しいと思うが、趣旨はよくわかる。
- 自治会活動の理念の部分は、行政が明確にし、繰り返し周知する必要があるのではないか。住んでいる人に直接伝わるようなことが必要である。
- 行政の役割は、課題を提示して市民を動かすことではないか。
- 防犯や防災などを切り口にすれば加入者数を増やすことが可能ではないか。
- 防犯、防災、環境等での必要性、重要性をアピールしている。
- 防犯や防災面で、最も重要な高齢者の加入者を繋ぎ止めることが課題であり、福祉分野とも連携し推進することを検討している。
- *自治会の自主的な活動数などの指標を検討すること。

【18120 国際交流・国際協力の推進、18130 国際化の推進】

- 国際交流の施策の指標1の交流率の定義はなにか。
- 市長やスポーツ交流などの公式訪問数である。
- 一般市民レベルの交流は含めていないのか。
- 数値把握が難しいため、含めていない。
- 施策レベルで考えると、2つの施策は、同様ではないのか。施策体系の見直しが必要ではないか。
- 現在進める新しい総合計画の施策の検討において見直しを予定している。。
- 説明の中で多文化共生を目指すと思ったが、その状態を示せる指標が必要ではないか。
- 経済技術交流や交流した成果がわかる指標の検討も必要ではないか。
- 現在改定作業中の「さがみはら国際プラン」で成果指標の検討を行う。
- インフラ整備を含めて外国人が住みやすい環境整備が必要ではないのか。
- 課題としては充分認識している。

- 市民相談課の外国人相談の結果は、活用できているのか。施策のヒント、課題解決のヒント、ニーズ把握があると思うが。
- 国際交流ラウンジでも同様の相談は受けており、ニーズ把握には努めている。プライバシーに関する部分も多いので、情報共有を全て行うのは難しいと考えている。
- 国際交流ラウンジの存在を知らない方が多いことも、大きな課題であるので、全市レベルでの取り組みによる周知に努めたいと考えている。
- 全市レベルで考えるならば、公民館を活用して相談業務を行うなどできると良いのではないかな。
- 外国人が最も必要としている情報・支援は、教育と医療ではないのか。それらのサポート体制は、どうなのか。
- 多くの市民に様々な分野のボランティア登録をさせていただいており、活用されている。これらのボランティア活動に対する支援を市が行っている。
- 市の取り組みとしてアピールできる部分ではないのか。
- * 施策の1本化も視野に入れた検討をすること。
- * 市民にアピールできる指標を検討すること。

【16310 文化的視点に立った行政の推進】

- 市のホームページは、よく出来ている。20代の広報紙閲読率が低いことが課題とあるが、ホームページアクセス件数も指標として考えていいのではないかな。
- 36110 情報通信メディアを活用した行政サービスの推進で指標設定している。
- インターネットを別に考える時代ではないのではないかな。施策同士の整理が必要ではないかな。
- 研修の成果を示せる指標は無いのか。
- 定量的に測る指標は難しいと考えている。
- 構成事務事業に違和感を覚えるが、施策目的からの整理が必要ではないかな。
- 「指標2：収集資料数」は、市民の検索率などを指標としてはどうか。
- 資料数を指標とした理由は、情報公開室に資料として配架されていない資料は、情報公開請求を行う必要があり、市民に煩雑な手続きを求めることとなるので、なるべく多くの資料を収集することが市民サービス向上の指標となると考えたものである。
- 資料の利用率を指標化するほうがよいのではないかな。
- 目的から考えると相応しいと思う。数値化できるかどうか検討を行う。
- コールセンターについては、年間どれくらい問い合わせがあるのか。
- 日に300件程度と承知している。
- 費用対効果を測るようなベンチマーク指標は設定できないかな。
- ホームページでは、見せるための工夫が必要である。リンクや検索エンジンなど市民の利便性を考える必要があると考えるが。
- 今年度からアクセス解析が出来るシステムを導入したので、様々な分析に活用し、利便性の向上を図っていく。

- ホームページの変更後に利用者アンケート等は実施したのか。変わってよかったですかどうかの確認はする必要があると考えるが。
- 特に実施していない。アクセス解析の中で使い勝手やニーズ分析を行っていきたいと考えている。
- * 指標については、市民にわかりやすい指標を検討すること。
- * 施策の目的を再検討し、構成事務事業についても検討を行うこと。

【決定事項】

- ◎ ヒアリングの内容に基づき事務局がまとめたものを次回までに提示する。
- ◎ 2回目のヒアリング後に評価を行う機会を設ける。
- ◎ 9月24日のヒアリング対象を7施策から6施策に変更。

相模原市行政評価検討委員会委員名簿

氏名	所属団体等	出欠
吉田 民雄	東海大学教授	出
霧生 卓	公認会計士	出
野中 保	相模原市自治会連合会	欠
西條 政夫	相模原商工会議所	欠
佐々木亮一	相模原青年会議所	出
伊藤 武	相模原地域連合	欠
西本 敬	相模原ボランティア協会	出
出沼 聡	公募委員	出
戸川 武彦	公募委員	出
西 秀秋	公募委員	出